

全国大会結果報告

幌延バレーボール少年団、全国大会初出場でベスト16に輝く

北北海道代表として、幌延バレーボール少年団（男子）『幌延ジーライズ』が出場した「第42回全日本バレーボール小学生大会」が8月10日（水）東京体育館をメインに各地で開催。予選15組の幌延ジーライズは埼玉県サイデン化学アリーナにて、京都代表と高知代表と対戦。予選第1日目はリーグ方式で初戦の京都代表には0-2で敗れましたが、2戦目の高知代表に2-0のストレート勝ちで全国大会初勝利を挙げ、1勝1敗で2位通過。

予選第2日目はトーナメント方式で行われ、1回戦で山口代表（2組3位）と対戦し2-0のストレートで勝利。続く予選準決勝は群馬代表（10組1位）と対戦。接戦の末、2-1で勝利。決勝トーナメント進出をかけた予選決勝は、熊本代表（9組1位）と対戦。惜しくも0-2で敗れ、決勝トーナメント進出とはなりませんでした。全国大会初出場で見事ベスト16と、立派な成績を収めました。

身長が大きな対戦相手にも選手たちは最後まであきらめることなく、持ち前の拾って繋ぐバレーでコートいっぱい全力でプレーしました。選手の皆さん、お疲れ様でした。



惜しくも初戦敗退

8月10日（水）～14日（日）滋賀県オセアンBCスタジアム彦根にて開催された「2022年 第12回全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会（びわこカップ）」に全国各地域から24チームが出場。

北海道代表の宗谷ベースボールクラブ（幌延中学校2年の伊藤隼汰くん、同2年の金田煌冬くん）は、開幕戦で地元・滋賀の大津口ピンズ（開催地推薦）と対戦。1回表に3点を与えましたが、その裏で1点を返し、その後4回表に追加点を与えてしまい、結果、惜しくも2対6で初戦敗退となりました。

伊藤くん、金田くんから、北海道では体感できない猛暑の中、グラウンドに立ち、野球を行うためのコンディション調整の大切さを改めて学びましたとコメント。今大会の悔しさを糧にこれからの益々の活躍を期待しています。



大会前に野々村町長に
全国大会の出場報告を行いました

優勝候補と互角の戦い!

8月6日（土）～22日（月）阪神甲子園球場で開催された「第104回全国高等学校野球選手権大会」、大会5日目（8月10日）に北北海道代表の旭川大学高等学校（3年・橋本翔太くん 幌延中学校卒業）が登場。初戦の相手は、「第94回選抜高等学校野球大会（春の甲子園センバツ大会）」の優勝校で、今大会の優勝候補の一角、大阪桐蔭高等学校（大阪代表）と対戦。序盤3-0とリードする展開でしたが、中盤以降、相手強力打線につかまり、結果、3-6で惜しくも初戦をのみました。

橋本くんから、「敗退となり悔しさはありますが、北北海道代表として、大舞台で優勝候補校に対し、自分達らしいプレーをし、堂々と戦えたことが良かった。」とのコメント。チーム一丸となり最後まで戦い抜く姿、甲子園で流した汗と涙、感動をありがとうございました。

本町から甲子園に出場した選手は、第85回選抜高等学校野球大会（2013年）に21世紀枠で出場した遠軽高等学校の鴨野崇希くん（当時3年）以来、3人目です。



試合開始のあいさつ